

熱処理変形・焼割れの発生メカニズムと対策

シミュレーションによる問題解決と展望

日時
2015年 1月9日(金)
10:00~16:00

受講料(8%税込)
1名: 54,000円
複数: 49,680円

案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分
JR中央線(緩行線)
地下鉄東西線(A5出口)
地下鉄有楽町線・南北線(A2出口)
都営地下鉄大江戸線(A2出口)

<お申込要項>

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名住所・連絡先(TEL・FAX・E-mail)をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかをお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。(個人申込除く)
- ・開催日前14日以降のキャンセルはお受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

会場 産業科学システムズ会議室(東京都千代田区富士見1-5-1)
講師のことは

なぜ、熱処理によって鋼製部品には変形・残留応力・割れが生じるのか。このような疑問に対する答えが、近年、シミュレーション結果の分析により、やっと得られるようになってきた。本セミナーでは、まず、熱処理変形・残留応力・割れの基本事項、そして熱処理シミュレーションの仕組みについて述べた後、浸炭焼入れ、高周波焼入れ、窒化における熱処理変形、残留応力や焼割れの発生メカニズムについて解説する。さらには、今回、アルミ部品の熱処理変形についても取り上げる。最後に、この分野における国内外での事例を紹介し、今後の取組みについて展望する。本セミナーが、現場における問題解決に対し、何らかのお役に立てば幸いです。

講座のポイント

- ・熱処理における変形・残留応力・割れの基礎を習得。
- ・各種熱処理部品における変形・応力・割れの発生メカニズム理解。
- ・熱処理シミュレーションによるアプローチと問題解決。

講師

(有)アリモテック 取締役 工学博士 有本 享三氏

日立造船(株)、(株)CRC総合研究所[現:伊藤忠テクノソリューションズ(株)]、Scientific Forming Technologies Corporation(米国オハイオ州)などを経て、2002年より現職。

熱処理における変形・残留応力・割れの概要

1. 熱処理変形・焼割れの事例
2. 変形と応力・ひずみの関係
3. 変形と残留応力の発生理由
4. 焼割れの発生理由

熱処理シミュレーションの仕組み

1. 熱処理シミュレーションの開発の経緯とシステムの概要
2. 相変態とそのモデル
3. 各種ひずみとそのモデル

各種の熱処理部品における変形・応力・割れの発生メカニズム

1. 軸の焼曲り
2. 片側浸炭板の焼曲り
3. 浸炭焼入れリングの変形と残留応力
4. 高周波焼入れリングの変形と残留応力
5. 窒化による変形と残留応力
6. 部品の焼割れ
7. アルミの熱処理変形

熱処理シミュレーションによる問題解決と展望

1. 海外での取組み
2. 国内での取組み
3. 展望

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ
<http://www.ebrain-j.jp>

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675
E-mail: education@ebrain-j.com

セミナー申込書 FAXは 03-3264-5675

セミナー申込書 熱処理変形・焼割れの発生メカニズムと対策

セミナーコード

1101-150109

太枠内をご記入の上FAX(03-3264-5675)してください。

2015/1/9 ISS

社名	所在地	〒	電話	()
No.	所属部課(正式名称)	氏名	E-mail アドレス	-
			FAX	()
窓口部署			通信欄	-
セミナーをお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト() その他				